

厚生労働研究 難治性疾患等政策研究事業
「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」
平成 28 年度第一回総会プログラム

研究代表者：滝川 一
(帝京大学医学部内科学講座主任教授)

日本医療研究開発機構研究費(AMED)「難治性の肝・胆道疾患に対する
治療介入の有効性についてのエビデンス作成のための研究」
平成 28 年度第一回総会と合同で行います

期日：平成 28 年 6 月 16 日(木) 10:00～16:30

場所：ステーションコンファレンス東京
6 階 602A+B+C+D

(分科会会場：4階 402-A、402-B、402-C)

平成 28 年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業
「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」

事務局：帝京大学医学部内科学講座 田中 篤 (秘書 咩野 カヨノ)

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL：03-3964-1211 Ext.34647、FAX：03-3964-6627

E-mail：a-tanaka@med.teikyo-u.ac.jp

<会場のご案内>

ステーションコンファレンス東京

東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー4～6F

TEL 03-6888-8080(代表)

- ・JR 東京駅日本橋口直結
新幹線日本橋口改札徒歩 1 分、八重洲北口改札徒歩 2 分
- ・東京メトロ東西線大手町駅 B7 出口直結



開 会	10:00
1. 主任研究者 挨拶 (研究代表者 滝川 一)	10:00~10:05
2. 厚生労働省健康局難病対策課 ご挨拶	10:05~10:10
3. 「小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患の移行期を包含し診療の質向上に関する研究」班との合同会議のご報告 (事務局)	10:10~10:15
4. 「小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患の移行期を包含し診療の質向上に関する研究」班 ご挨拶、および研究内容のご紹介 (東北大学小児外科 佐々木英之先生)	10:15~10:30
5. 各分科会からの発表 (1)	10:30~12:30
(1) 劇症肝炎分科会 (座長: 持田 智)	10:30~11:25
1) 急性肝不全の全国調査 (全体研究)	
	持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)
2) わが国における ACLF の概念の確立 (WG-1)	
	持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)
3) 劇症肝炎の予後予測システム (個別研究)	
	持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)
4) Niigata ALF Network	
	寺井 崇二 (新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野)
5) 急性肝不全における感染性合併症の検討 (自験例および全国調査例)	
	横須賀 収 (千葉大学)
6) 薬物性肝障害による急性肝障害・肝不全の病態解析	
	滝川 康裕 (岩手医科大学内科学講座消化器内科肝臓分野)
7) 急性肝不全における劇症肝炎肝移植適応ガイドラインの有用性と問題点	
	井戸 章雄 (鹿児島大学学術研究院消化器疾患・生活習慣病学)
8) 適切な肝移植決定の時期とそれまでの内科治療	
	井上 和明 (昭和大学藤が丘病院消化器内科)
(2) AIH 分科会 (座長: 大平 弘正)	11:25~12:30
1) AIH 分科会の年度計画	
	大平 弘正 (福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科)
2) AIH 患者における QOL 調査	
	大平 弘正 (福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科)

- 3) 急性肝炎期 AIH の病理所見
原田 憲一 (金沢大学医薬保健研究域医学系人体病理学)
- 4) 急性肝炎期自己免疫性肝炎の診断指針作成 (臨床)
吉澤 要 (信州大学消化器内科)
- 5) 自己免疫性肝炎全国調査の今後の解析について
鳥村 拓司 (久留米大学医学部内科学講座消化器内科学部門)
- 6) 自己免疫性肝炎における重症度判定基準の検証
鈴木 義之 (虎の門病院肝臓内科)
- 7) 自己免疫性肝炎診断ガイドライン (2013 年) 改定に向けた取り組み
阿部 雅則 (愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学)
- 8) 急性肝炎期自己免疫性肝炎の鑑別に有用な自己抗体の探索
高木 章乃夫 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器・肝臓内科学)

— 昼食・休憩 (12:30~13:10) —

- | | |
|---|--|
| 6. 研究分担者会議 (昼食時) : 4 階 402-C | 12:35~13:05 |
| | |
| 7. 各分科会からの発表 (2) | 13:10~16:20 |
| (3) PBC 分科会 (座長: 田中 篤) | 13:10~14:10 |
| 1) PBC 病名変更についてのご報告 | |
| | 田中 篤 (帝京大学医学部内科学講座) |
| 2) 第 16 回原発性胆汁性肝硬変 全国調査 | |
| | 廣原 淳子 (関西医科大学内科学第三講座) |
| 3) 大西班登録 PBC 症例における追跡調査データの解析 | |
| | 松崎 靖司 (東京医科大学茨城医療センター・消化器内科) |
| 4) 「慢性胆汁うっ滞性肝疾患患者の皮膚そう痒に対するナルフラフィン塩酸塩の有効性の探索」進捗状況 | |
| | 田中 篤 (帝京大学医学部内科学講座) |
| 5) 肝不全に至った PBC 症例の調査研究 | |
| | 中村 稔 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学系専攻
肝臓病学講座) |
| 6) 原発性胆汁性肝硬変に対する肝移植後予後因子に関する多施設前向き研究 | |
| | 江川 裕人 (東京女子医科大学消化器外科) |
| 7) PBC 診療ガイドライン(2012 年)改訂へ向けて | |
| | 小森 敦正 (国立病院機構長崎医療センター臨床研究センター
難治性疾患研究部) |

- (4) 肝内結石・硬化性胆管炎分科会 (座長：田妻 進) 14:10～15:15
- 1) 肝内結石コホート調査
森 俊幸 (杏林大学医学部外科)
 - 2) 肝内結石診療ガイドライン策定に向けて
露口 利夫 (千葉大学大学院医学研究院消化器・腎臓内科学)
 - 3) PSC・IgG4 全国調査
田中 篤 (帝京大学医学部内科学講座)
 - 4) PSC 診断基準の提案
中沢 貴宏 (名古屋第二赤十字病院消化器内科)
能登原 憲司 (倉敷中央病院病理診断科)
 - 5) PSC 診療の実際
田妻 進 (広島大学病院総合内科・総合診療科)
 - 6) 小児 PSC の検討
藤澤 知雄 (済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科)
 - 7) 原発性硬化性胆管炎診療指針の提案
伊佐山 浩通 (東京大学医学部消化器内科)
 - 8) PSC を罹患し肝移植適応と判断された患者に関する後ろ向き調査
國土 典宏 (東京大学医学部附属病院肝胆膵外科・人工臓器移植外科)

— 休憩 (15:15～15:30) —

- (5) 門脈血行異常症分科会 (座長：橋爪 誠) 15:30～16:20
- 1) 門脈血行異常症ガイドライン大改訂版作成についての進捗状況と本年度の計画
古市 好宏 (東京医科大学消化器内科学分野)
 - 2) 門脈血行異常症に関する全国疫学調査
大藤 さとこ (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)
 - 3) 門脈血行異常症に関する定点モニタリング
大藤 さとこ (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)
 - 4) Budd-Chiari 症候群の外科治療
國吉 幸男 (琉球大学大学院胸部心臓血管外科学講座)
 - 5) 特発性門脈圧亢進症における脾摘術の意義と長期予後
橋爪 誠 (九州大学大学院医学研究院先端医療医学講座災害救急医学分野)
 - 6) 検体保存センターの現状
橋爪 誠 (九州大学大学院医学研究院先端医療医学講座災害救急医学分野)

8. 事務局連絡 16:20～16:25

- 旅費精算
- 研究費執行

9. 閉会の挨拶 (研究代表者 滝川 一) 16:25～16:30

閉 会 16:30

<ワーキンググループ会合>

AIH 分科会 (402-A)	10:30～11:20
劇症肝炎分科会 (402-B)	11:20～12:20
肝内結石・硬化性胆管炎分科会 (402-A)	11:20～12:20

厚生労働研究 難治性疾患等政策研究事業
「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」
平成 28 年度第二回総会プログラム

研究代表者：滝川 一
(帝京大学医学部内科学講座主任教授)

日本医療研究開発機構研究費(AMED)「難治性の肝・胆道疾患に対する
治療介入の有効性についてのエビデンス作成のための研究」
平成 28 年度第二回総会と合同で行います

期日 : 平成 29 年 2 月 9 日(木) 10:00~16:30

場所 : ステーションコンファレンス東京
6 階 602B+C+D

(分科会会場 : 4階 402-A、402-B、402-C)

平成 28 年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業
「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」
事務局:帝京大学医学部内科学講座 田中 篤
(秘書 畔野 カヨノ、岩井 香菜子)
〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1
TEL : 03-3964-1211 Ext.34647、FAX : 03-3964-6627
E-mail : a-tanaka@med.teikyo-u.ac.jp

<会場のご案内>

ステーションコンファレンス東京

東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー4~6F

TEL 03-6888-8080(代表)

- ・JR 東京駅日本橋口直結
新幹線日本橋口改札徒歩 1 分、八重洲北口改札徒歩 2 分
- ・東京メトロ東西線大手町駅 B7 出口直結



開 会	10:00
1. 開会の挨拶 (研究代表者 滝川 一)	10:00～10:05
2. 厚生労働省健康局難病対策課 ご挨拶	10:05～10:10
3. 事務局連絡	10:10～10:20
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 小児班との連携、移行期医療の推進 ➤ 臨床調査個人票の改訂 (平成 29 年度 4 月より) ➤ 平成 29 年度以降の研究計画案 	
4. 各分科会からの発表 (1)	10:20～12:55
(1) 劇症肝炎分科会 (座長: 持田 智)	10:20～11:50
1) 劇症肝炎分科会活動報告	
持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)	
2) 急性肝不全, 遅発性肝不全の全国調査 (2015 年)	
持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)	
3) わが国における acute-on-chronic liver failure (ACLF) の実態解明	
持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)	
4) 劇症肝炎患者の脳死肝移植登録状況と移植実施率、待機死亡率に関する調査	
玄田 拓哉 (順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科)	
5) HBV キャリア急性増悪による急性肝不全に対する核酸アナログへのステロイド併用の有効性・安全性に関する検討	
坂井田 功 (山口大学大学院医学系研究科消化器内科学)	
6) 佐渡における急性肝障害の実態調査	
寺井 崇二 (新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野)	
7) 急性発症型自己免疫性肝炎の診断に関する考察	
横須賀 収 (千葉大学大学院消化器・腎臓内科学)	
8) 急性肝不全に対する免疫抑制療法の妥当性について	
横須賀 収 (千葉大学大学院消化器・腎臓内科学)	
9) 劇症肝炎の肝移植適応ガイドラインの再検証	
清水 雅仁 (岐阜大学大学院医学系研究科消化器病態学)	
10) 高齢者急性肝不全の特徴	
井戸 章雄 (鹿児島大学学術研究院消化器疾患・生活習慣病学)	
11) 急性肝不全診療ガイド	
井上 和明 (昭和大学藤が丘病院消化器内科)	

12) オンライン CHDF 機器開発／薬物性肝障害早期診断の試み

滝川 康裕 (岩手医科大学内科学講座消化器内科肝臓分野)

(2) AIH 分科会 (座長: 大平 弘正)

11:50~12:55

1) AIH 分科会活動報告

大平 弘正 (福島県立医科大学消化器内科)

2) AIH 患者における QOL 調査

大平 弘正 (福島県立医科大学消化器内科)

3) 急性肝炎期 AIH の病理所見

原田 憲一 (金沢大学医薬保健研究域医学系人体病理学)

4) 急性肝炎期自己免疫性肝炎の診断指針作成

吉澤 要 (信州大学消化器内科・信州上田医療センター消化器内科)

5) 自己免疫性肝炎全国調査のサブ解析報告

鳥村 拓司 (久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門)

6) 自己免疫性肝炎における重症度判定基準の検証

中本 伸宏 (慶應義塾大学医学部内科学消化器)

7) 自己免疫性肝炎における IgG の推移

姜 貞憲 (手稲溪仁会病院消化器病センター)

8) 自己免疫性肝炎 (AIH) 診断ガイドライン (2016 年)

阿部 雅則 (愛媛大学大学院医学系研究科消化器・内分泌・代謝内科学)

9) 急性発症自己免疫性肝炎における抗 PD-1 抗体の意義についての検討

高木 章乃夫 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器・肝臓内科学)

— 昼食・休憩 (12:55~13:35) —

5. 研究分担者会議 (昼食時): 4 階 402-C

13:00~13:30

6. 各分科会からの発表 (2)

13:35~16:20

(3) PBC 分科会 (座長: 田中 篤)

13:35~14:25

1) PBC 分科会活動報告

田中 篤 (帝京大学医学部内科)

2) 原発性胆汁性胆管炎 全国調査

廣原 淳子 (関西医科大学内科学第三講座)

3) 大西班登録 PBC 症例における追跡調査データの解析

松崎 靖司 (東京医科大学茨城医療センター・消化器内科)

4) PBC における自覚症状・QOL 調査

田中 篤 (帝京大学医学部内科)

- 5) 「慢性胆汁うっ滞性肝疾患患者の皮膚そう痒に対するナルフラフィン塩酸塩の有効性の探索」進捗状況 (AMED 班)

田中 篤 (帝京大学医学部内科)

- 6) 肝不全に至った PBC 症例の調査研究

中村 稔 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学系専攻
肝臓病学講座先端医療学)

- 7) 原発性胆汁性胆管炎 (PBC) の診療ガイドライン追補足版 2017

小森 敦正 (長崎医療センター臨床研究センター)

- (4) 肝内結石・硬化性胆管炎分科会 (座長: 田妻 進) 14:25~15:30

- 1) 3年間の活動要約

田妻 進 (広島大学病院総合内科・総合診療科)

- 2) 肝内結石コホート調査

森 俊幸 (杏林大学医学部外科)

- 3) 肝内結石症診断基準・診療ガイドライン (案) について

露口 利夫 (千葉大学大学院医学研究院消化器・腎臓内科学)

- 4) PSC 全国調査

田中 篤 (帝京大学医学部内科)

- 5) PSC 診断基準

中沢 貴宏 (名古屋第二赤十字病院消化器内科)

能登原 憲司 (倉敷中央病院病理診断科)

- 6) PSC 画像の特徴

田妻 進 (広島大学病院総合内科・総合診療科)

- 7) 小児 PSC の臨床的特徴

藤澤 知雄 (済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科)

- 8) PSC の診療指針

伊佐山 浩通 (東京大学医学部消化器内科)

- 9) PSC に対するベザフィブラート医師主導治験 (進捗状況)

田中 篤 (帝京大学医学部内科)

飯室 聡 (帝京大学臨床研究センター)

— 休憩 (15:30~15:45) —

- (5) 門脈血行異常症分科会 (座長: 橋爪 誠) 15:45~16:20

- 1) 門脈血行異常症分科会活動報告

橋爪 誠 (九州大学大学院先端医療医学講座災害・救急医学分野)

- 2) Budd-Chiari syndrome に対する肝静脈再開通の工夫
 國吉 幸男 (琉球大学大学院胸部心臓血管外科学講座)
- 3) 門脈血行異常症ガイドライン大改訂作業の進捗状況とガイドライン英文版の完成
 古市 好宏 (東京医科大学消化器内科学分野)
- 4) 門脈血行異常症に関する全国疫学調査
 大藤 さとこ (大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)
- 5) 個人調査票からみたバッドキアリ症候群の診療と治療の現状
 橋爪 誠 (九州大学大学院先端医療医学講座災害・救急医学分野)

7. 事務局連絡 **16:20～16:25**

- 旅費精算
- 研究費執行

8. 閉会の挨拶 (研究代表者 滝川 一) **16:25～16:30**

閉 会 **16:30**

<ワーキンググループ会合>

肝内結石・硬化性胆管炎分科会 (402-A)	11:50～12:50
劇症肝炎分科会 (402-B)	11:50～12:50
門脈血行異常症分科会 (402-A)	13:35～14:35